

60min chart
8/31-9/4



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

31日

「菅義偉官房長官が自民党総裁選に出馬の意向」との報道を受けて、安倍政権の政策が継続されるとの期待が高まり、ドル円は買いが強まった。NY市場には一時106.10円まで値を上げた。

1日

対ユーロなどでドル安が進んだ影響からドル円は105.59円まで下げたが、8月米ISM製造業景気指数などが良好な結果だったことが伝わると106.15円まで反発した。
なお、ユーロドルは一転下落。一時1.2011ドルと2018年5月2日以来約2年4カ月ぶりの高値を付けたが、その後は達成感から利食い売りが活発化した。レーン欧州中央銀行(ECB)専務理事がユーロ高けん制を匂わす発言したことも売りに拍車を掛け、1.1902ドルまで急速に値を下げた。

2日

前日からのドル買い戻しの流れが継続し、ドル円は一時106.30円まで上昇した。一目均衡表雲の下限だった106.31円がレジスタンスとして意識されるとその後は高値圏でのみみ合いとなった。

3日

欧州株高などを受けてロンドン序盤からドル円は買いが強まり、一時106.55円まで上昇した。ただ、アップルなどこれまで相場上昇をけん引してきた大型ハイテク株が利益確定売りに押されて米国株相場が大幅に下落すると、クロス円とともに売りが優勢となり106.00円まで一転下落した。

4日

8月米雇用統計で失業率が8.4%と予想の9.8%より強い数字となったことを受けてドル買いが強まり、ドル円は一時106.51円まで値を上げた。一時は240ドル超上昇したダウ平均が失速し620ドル超下落すると106円台前半まで失速した。

総括

先週のドル円は底堅い展開となった。週明けは菅幹事長出馬報道でアベノミクス継続との見方から株高とともに円売り・ドル買いが進んだ。中盤もその流れのまま、3日にはドル円は一時106.55円まで上昇した。その後は米指標などに振られながらも106円台はキープして週末の取引を終えた。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
1日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.25%	0.25%	0.25%
1日	18:00	火	EUR	HICP速報値	前年比	8月	0.4%	0.2%	-0.2%
1日	23:00	火	USD	ISM製造業景況指数	*	8月	54.2	54.6	56.0
2日	10:30	水	AUD	GDP	前期比	4-6月期	-0.3%	-6.0%	-7.0%
2日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	8月	16.7万人	95.0万人	42.8万人
3日	23:00	木	USD	ISM非製造業指数	*	8月	58.1	57.0	56.9
4日	21:30	金	USD	非農業部門雇用者数変化	前月比	8月	176.3万人	140.0万人	137.1万人

一言コメント・・・前週末発表の8月米雇用統計で、非農業部門雇用者数はほぼ予想通りの結果となりましたが、失業率と平均時給が予想より強い内容となったことを受けて、米長期金利が上昇。ドルも買いが先行しました。ただ、米国の3連休前とあってドル買いの勢いは長続きしませんでした。

先週の注目された要人発言

- 2日02:05 ブレイナードFRB理事「インフレの2%回帰はしばらく時間がかかる」「低金利が長期間続くと金融セクターのリスクが高まる」「FRBの政策が安定から調整ヘシフトすることが重要」
- 2日09:34 オアRBNZ総裁「低金利が全体的に効果的となっている」「追加的な手段にはマイナス金利やさらなる量的緩和が含まれる」「我々の目標は変わっていない」「為替レートを懸念していない」
- 2日10:19 ペロシ米下院議長(米民主党)「ムニューシン米財務長官と電話会談を行い、コロナ対策において深刻な認識の違いがあることが分かった」
- 2日17:08 菅官房長官「安倍首相の取り組みを継承し、さらに前に進めるために持てる力を全て尽くす覚悟」
- 2日21:34 バルニエ英EU離脱・欧州委員会首席交渉官「10月末の厳格な締め切りに対して現実的になるべき」「英政府は義務なしでEU特典の維持を望んでいる」「英は漁業権問題について妥協点を探る姿勢を見せていない」
- 2日23:48 ラムスデン・イングランド銀行(英中銀、BOE)副総裁「BOEは必要なら量的緩和(QE)ペースを大幅に拡大することが可能」
- 3日03:00 ページュブック「米経済活動はほとんどの地区で拡大」「経済活動はパンデミック前の水準をはるかに下回っている」
- 4日18:42 サンダースMPC委員「追加緩和が適切となる公算が高い」「理論的にはマイナス金利に反対しない」
- 4日23:32 クドローNEC委員長「次のウイルス援助法案の規模と範囲で意見の不一致が広範囲に及ぶ」「新型コロナウイルス援助法案が成立しなくても我々は構わない」

一言コメント・・・オアRBNZ総裁の「為替レートを懸念せず」との通貨高を容認する発言を受けてNZドル売りが強まる場面がありました。バルニエEU首席交渉官の発言を受けて、英国がEUとFTAを締結できないまま、EU離脱の移行期限である年末を迎えるリスクが意識され、ポンド売りが進行。ラムスデンBOE副総裁の発言もポンド売りを誘いました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
8日	08:50	火	JPY	GDP改定値	年率換算	4-6月期	-27.8%		-28.5%
8日	18:00	火	EUR	GDP確定値	前期比	4-6月期	-12.1%		-12.1%
9日	23:00	水	CAD	BOC政策金利	*	*	0.25%		0.25%
10日	20:45	木	EUR	ECB政策金利	*	*	0.00%		0.00%
10日	21:30	木	EUR	ラガルドECB総裁会見	*	*	*	*	*
10日	21:30	木	USD	PPI	前月比	8月	0.6%		0.2%
11日	21:30	金	USD	CPI	前月比	8月	0.6%		0.3%

今週の注目は・・・ECB定例理事会

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。